

## 第1学年A組 英語科授業案

場 所 1 A 教室  
授 業 者 天野 万喜男

### 1 単 元 Japan Original (This Is My Life)

#### 2 単元の構想

##### (1) めざす子どもの姿

アメリカの中学校や生活を紹介したビデオレターを視聴した子どもは、日本との違いに興味をもつ。書籍・インターネットで調べたり、メールで質問したりして、当たり前とと思っていた日本の学校や生活の独自性を知る。アメリカの中学生から「日本の『和』とは何か」とたずねる質問を受けた後は、さらに日本らしさについて考えを深める。日本人として大切にすべき「和の心」があることを実感した子どもは、英語や海外について学ぶためには、まず日本をよく知ることが大切であると気づく。

##### (2) 英語科としての学び

前単元では、アメリカの中学生との「偉人紹介」の交換をとおして、紹介するための英語を身につけることができた。何とか自分の考える偉人を伝えようと熱心に取り組む姿が目立った。しかし、ビデオレターを使って一方的に話す活動だったため、writing, reading, speaking, listeningの4つの技能をバランスよく伸ばすことが課題となった。また、アメリカのからの映像では、紹介する対象として軍人や家族などが挙げられており、日本人の考え方との大きな違いを知ることとなった。

本単元では、学校や身の回りの生活など、これまで日本人の目線でしか見てこなかったものを、外国の方から見るとどう映っているのか見直す。書籍やインターネットで調べるほか、アメリカの中学生とメールをやりとりをする活動では、読んだり書いたりする力をつける。一方で、相手からの映像を見たり、調べたことを映像にまとめたりする活動をとおして、聞いたり話したりする力をつける。何気ない身の回りのことを英語で表す体験は、パラフレーズを駆使して複文で表現したり、ジェスチャーを交えて会話に臨んだりする基礎を養うことにつながる。

日本では当たり前の生活を、海外の生活を調べることで比較し、新たな目線で見つめ直す経験は、世界の国々の生活や文化を理解するきっかけとなる。自国のよさを見つめ、他国のよさを認めて互いに尊重し合う態度を育てることは、国際理解の礎となるだろう。アメリカの中学生との交流をさらに深める一方で、他の国の様子を知りたい、自国の文化を大切にしたいと強く願って追究を進める子どもの姿を期待する。

##### (3) 「学んだこと」を子どもが見つげ出すためのはたらきかけ

PROSPECTの過程では、交流を始めたアメリカの中学生から届いた、学校生活や身の回りの出来事を紹介するビデオを視聴させることから始める。日本との違いに興味をもった子どもに、ALTとの質問の時間を設ける。外国人から見た日本の学校や日常の生活の様子や違いを知った子どもは、今まで当たり前だと思っていたことがそうではないと気づき、どんな違いがあるのかを調べてみたいと願う。

PROGRESSの過程では、書籍やインターネットを用いたり、アメリカの中学生にメールを送ったりして違いを調べる。調べてきたことを項目ごとにまとめて掲示することで、新たな発見をしたり、自分の情報との比較をしたりして情報が共有できるようにする。また、アメリカの中学生から届いた「日本人が大切に『和』とは何か」とたずねる質問を全体に投げかけ、さらに日本を見つめ直すきっかけとする。

PROCEEDの過程では、「和」についての意見交流の中で、「和は、今や日本人が忘れてきている文化だ」と考えるYDを指名することで、伝統を引き継ぐものとしての自覚をもち、日常生活の中で和を意識して行動することを再確認させる。ALTとの対話を通して和についての考え方を深めたあと、アメリカの中学生との意見交換をする。

単元を終えたあとも、「和」や「日本らしさ」を日常生活の中で実践しようとしたり、6月に来日來校するマレーシアの交換留学生へ日本を紹介する冊子やビデオを送ったりする。

5 単元構想表 (12時間完了)

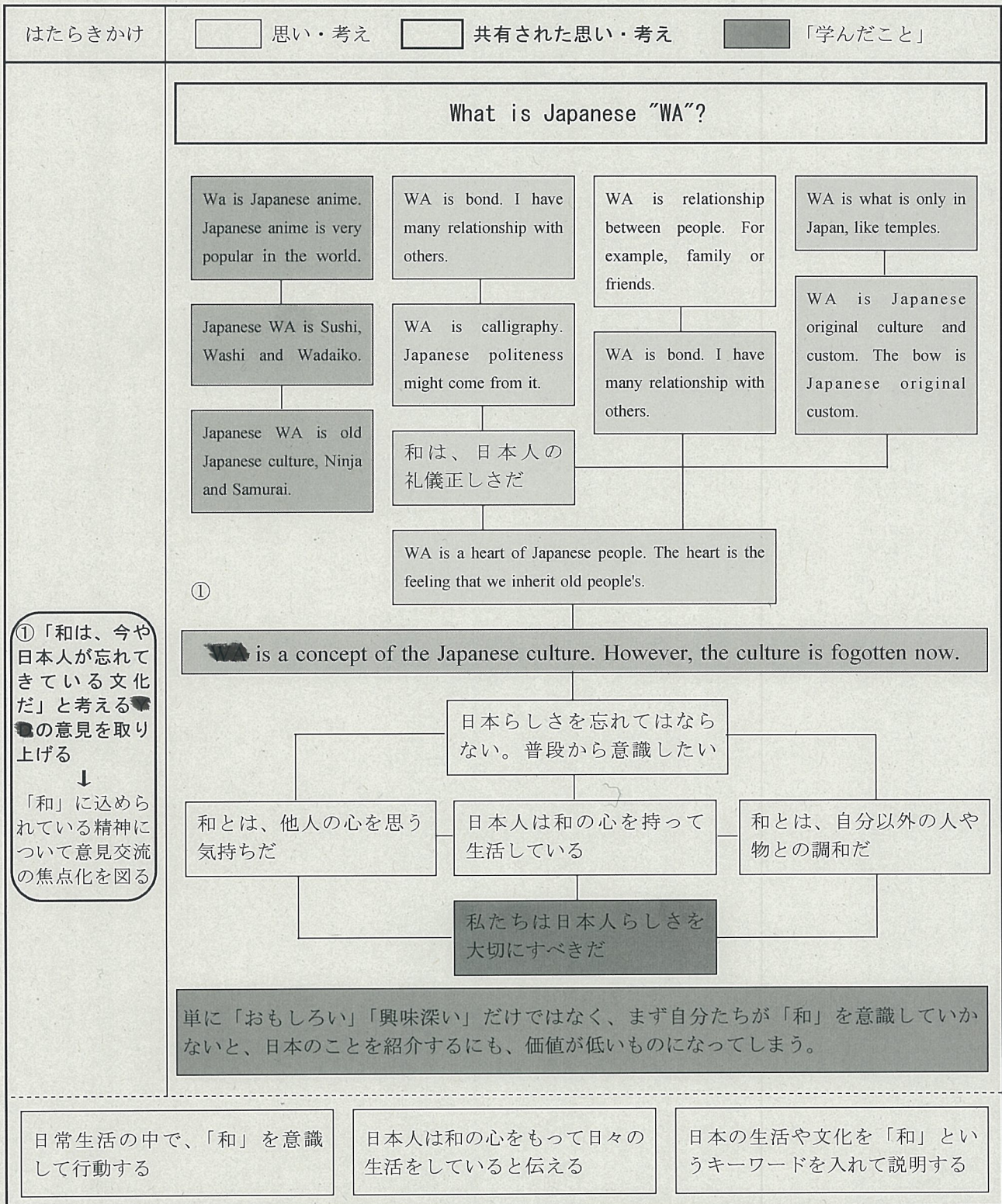
【第9時終了時】

過程	想定される行動と はたらきかけ	□ 思い・考え	□ 共有された思い・考え	■ 「学んだこと」	教科で重視する 力の育ち
	偉人紹介では、一生懸命覚えた英語が話せた。次は書く活動もしたい	Jane Addamas Jr. High Schoolの中学生と もっと交流を深めたい		日本人とアメリカ人とは、考えている偉人が全然違った	
P R O S P E C T	① アメリカの中学生から紹介するビデオを視聴させ、互いの文化をききかけと考える	<b>① 日本とアメリカの生活や文化には、どのような違いがあるのか、知りたい 1~2時</b>			☆Sociolinguistic competence ・日常の英語で会話を聞き取ったり、話したりできるようにする
	② ALTとの質問や対話の時間をとり、「外国の方から見た日本」という追究の視点をもたせる	ビデオで話している子の英語は速すぎて聞き取れない	アメリカでは8割の子がバス通学をしている	アメリカでは家に入るときに靴を履いたままらしい	
P R O G R E S S	アメリカの学校や生活について、書籍、インターネット、メールで調べる	<b>② 英語をもっと身につけないと、実際に会話はできない</b>			☆Sociolinguistic competence ・感想や意見など、意見交換に加えて使用する英語表現を身につける ☆Grammatical competence ・1年生で習うcanの他にも、mustやmayなどの助動詞を学習する
	③ 各自が調べたことを項目で分類して掲示することで、共有できるようにする	アメリカと日本の学校や生活には大きな違いがありそうだ。いったいどんな違いがあるのだろうか。調べてみるとおもしろそうだ	高校・大学の制度も国によって変わる。おもしろい	西洋は靴はアメリカと同じと言われた。日本とは全く違う	
P R O C E E D	④ 「日本人が大事にしている『和』とは何ですか」とたずねるアメリカからのメールを紹介し、全員で考えさせる	<b>③ アメリカ独自の、あるいは日本独自の生活様式や文化にはどのようなものがあるのか、調べたい 3~7時</b>			☆Discourse competence ☆Strategic competence ・身につけた少ない文法や語彙でコミュニケーションがとれるように、会話ができるようにパラフレーズの手法を身につける
	⑤ 「和は、今や日本人が忘れてきている文化だ」と考えるを指名し、全体で考えさせる論点とする	アメリカの中学生に、学校や生活についてメールで質問したり、興味があることを聞いてみたい	書籍やインターネットでも多くの違いが紹介されている		
	これまで追究してきた学校や生活の中にある「和」について再追究する	<b>④ 日本のことで興味をもっているのは何かな</b>			
	⑥ 「和」について調べたことを、ALTに質問したり対話することで、外国の方から見た視点を確認できるようにする	日本の「和」についてたずねる質問が届いた	アメリカの生活は、日本と比べて「自由」が多い気がする		
		学校生活や流行していることを知りたいらしい	「和」とはいったい何だと説明すればよいのか	日本のことをもう一度詳しく見つめ直してみる必要がある	
		<b>⑤ アメリカの中学生に説明できるよう、「和」について調べてみる必要がある</b>			
		<b>⑥ 「和」は日本を説明するキーワードとなるはずだ 8~12時 (本時10)</b>			
		身の回りの生活には日本らしい気配りがたくさんある	日本人が忘れてはならない心・精神である	食べ物や建築物にさえ、「和」の心がある	
		生活していくうえで忘れてはならない精神だ	「和」には日本人が大切にすべきことが詰まっている	外国の方に伝えるためには、私たちが日々意識すべきだ	
		<b>「日本らしさ」はアメリカの中学生からも認めてもらえる、私たち日本人が忘れてはいけない精神だ。アメリカのことを知ることも大事だけれど、自分たちが「日本らしさ」を忘れずに行動することを大事にしたい</b>			
	6月に来るマレーシアの中学生にも日本を詳しく知ってもらいたい	Jane Addamsの中学生にも「和」の心を教えたい		外国の文化を知る前に、日本の文化を大事にして生活したい	

#### 4 本時の構想 (10/12)

アメリカの学校や生活について紹介されたビデオを視聴した子どもは、日本との違いに興味をもち、日米それぞれの学校・生活・文化などについて調べた。そんな中、再度アメリカの中学生から送られてきた質問事項の中にあつた「日本人が大事にしている『和』とは何ですか」という問いかけに対して、子どもはこれまでの調べの中から、あるいは新たな視点をもって追究を深めている。

本時は、「和」についての意見を交流させることから始まる。その中で、「和は、今や日本人が忘れてきている文化だ」と考える[黒]の意見を取り上げることによって焦点化を図り、自分たちの生活とどう結びつけていくべきかを考えさせ、外国の方に日本文化を紹介するには、まず自分たちが「和」の心を大事にして生活する必要があると気づく。



① WA is a heart of Japanese people. The heart is the feeling that we inherit old people's.

[黒] is a concept of the Japanese culture. However, the culture is forgotten now.

日本らしさを忘れてはならない。普段から意識したい

和とは、他人の心を思う気持ちだ

和とは、自分以外の人や物との調和だ

日本人は和の心を持って生活している

私たちは日本人らしさを大切にすべきだ

単に「おもしろい」「興味深い」だけではなく、まず自分たちが「和」を意識していないと、日本のことを紹介するにも、価値が低いものになってしまう。